

## ●東部振興構想（素案）に対する発言・意見

番号	委員名	発言内容	対応方法
1	中川委員	まちづくり5原則の一体性において、企業との連携が見えるようにしてほしい。	構想（案）P25の「まちづくり5原則 一体性」に反映しました。
2	秦野委員	まちの将来像に企業や産業が記載されるとより良くなると思う。	構想（案）P26、P51の「東部地域の将来像」に反映しました。
3	落合委員 坪井委員	全国各地で風水害が、頻繁に発生している。以前に土砂崩れなどもあったことから、特に水に対する危機感を植え付けたい。	構想（案）P15、P16でハザードマップを追加しました。また、P47の「2.安全・安心な住環境の整備」に反映しました。
4	横山委員	産学官民の連携について、全国的には郵便局など民ではあるが、公共的団体・組織と連携も進んでいるので、連携先として記載したらどうか。	今後、より多くの関係者と連携を図っていきたいことから、具体的な団体・組織名は記載しませんでした。プラットフォームを構築した際に見える化していきたいと思います。
5	村上委員	生産年齢人口の割合をKPI（重要業績指標）にすると目標値は示されていないものの、永遠に達成できないのではないか。	構想（案）P54のとおり、目標値を設定しました。
6	村上委員 小柳委員	参考指標の交流の「桃花台まつりの参加者数」は適切でないと思う。 桃花台まつりの開催方法の変更等も検討している。	構想（案）P55のとおり修正しました。
7	横山委員 小柳委員	参考指標の「戸建て住宅の空き家数」はなかなか減少しないと思う。 対処件数、流通件数にしてはどうか。	発生抑制、流通など全般を把握したいことから「戸建て住宅の空き家数」のままとしました。ただし、構想（案）P55目指す方向を→に修正しました。
8	落合委員	構想（素案）のP38の名古屋コーチンプロジェクトにおいて、小牧市だけでなく、地名が特定できるよう「池之内」と記載してほしい。	構想（案）P46のとおり、反映しました。
9	村上委員	構想に道路網の整備を記載してほしい。	構想（案）P18に現状・課題として記載しました。

番号	委員名	発言内容	対応方法
10	中川委員	大草地区の一部では廃棄物中間処理施設の建設などにより、神屋味美線がダンプ街道となってしまった。	構想（案）P14に現状・課題として記載しました。
11	三木委員	今後、分譲マンションの空き部屋も課題となってくる。構想や指標に設定できないか。	今回の構想では、現在、把握できている「戸建て空き家」を指標として設定したいと考えています。
12	渡邊委員	取組方針が多いので、東部地域の住民の方にはまずアンケートを採って、一番進めてほしいことから実現してみてもどうか。	策定を進める構想の実現に向け、住民主体のまちづくりとして何が必要か、何がしたいかなどアンケート調査も含め、住民ニーズの把握に努めていきたいと思えます。
13	原委員	農家数や生産額などのデータを構想に記載してほしい。	構想（案）のP20、P21に追加しました。
14	秦野委員	基盤のところに関連法規など行政の役割を記載してほしい。	構想（案）のP29、P30に反映しました。

●リーディングプロジェクトのイメージに対する発言・意見

番号	委員名	発言内容	対応方法
1	小柳委員	ブドウ農家の件数が7軒となっている。今後地元の消費者と生産者がつながり、意見交換するなど交流していく必要があると思う。	今後のプロジェクトの立案・検討などで参考にしていきます。
2	小柳委員	地域協議会の活動として外国籍中学生との座談会を開催した。多文化共生のひとつの方向づけとして引き続き進めていきたいと思う。	アクションプランで記載するか検討を進めます。
3	古池委員	リーディングプロジェクト3 桃でつながるプロジェクトは、生産者ベースだけでなく、学校教育など市民ベースでつながる視点を追加できるとさらに広がりが見え、とてもわくわくする。	プロジェクトを進めていくうえで、多くの関係者と連携できるように調整・検討していきます。
4	蛭原委員	青年会議所では飲食店、事業主、さらには学生などと連携をとった事業を検討している。桃でつながるプロジェクトで、連携していけるとうれしい。	今後、多くの関係者と連携できるように調整していきたいと考えています。

番号	委員名	発言内容	対応方法
5	小柳委員	ハイウェイオアシスをどう東部まちづくりにどう活かしていくのかの検討が必要。	ハイウェイオアシスの建設が進むうえで、検討・調整を進めていきます。
6	藤村委員 柴田委員	住みたいと思えるプラン案があまりない。魅力が持てれば住んでくれる人が増えるというのは少し違う気がする。	今後、住民、事業者、教育機関、行政など東部地域に関係する人が連携し、支え合うまちづくりを進めていくことで、住みつけたい、住みたいと思ってもらえる地域にしていきたいと思っています。

●その他、情報提供・行政への要望

番号	委員名	発言内容
1	坪井委員	ハイウェイオアシスは約 900 人の雇用が生まれ、来場者も約 500 万人を想定している。若い方にもお越しいただけるのではないかと期待している。また、農産物の産直もできるようにしていく予定である。
2	小柳委員	池之内にある名古屋コーチン発祥の地を訪れてもらえるよう PR する体制を整えていくべきだと思う。
3	原委員	東部の現状や課題をしっかりと把握するためにも、東部まちづくり推進室、もしくは分室を東部市民センターの中に設置したらどうか。
4	深堀委員	東部地域では老人施設が不足している。 そのあたりも市で把握し、できれば市の施設として準備できるものがないか検討してほしい。

●全般

番号	委員名	発言内容
1	大塚 職務代理	産業基盤が身近にあると職住近接のまちができ、職住近接のまちができるとまちづくりに参画してくれる人の増加の可能性も広がっていく。新しいビジネスの創出では、多様な働き方のできる環境を作り出すことにもつながっていく。結果、訪れる人も増え、住みやすい環境にもつながり、若い人達にも住みたいまちになると思う。 また行政が何をしてくれるかということではなく、住民が行政を動かすためにも、民間の力、市民の力でまちづくりを行うことが重要だと思う。
2	増田会長	本日いただいた意見については構想に記載できるもの、できないものがあると思う。ただし、地域課題については、共通認識をしておくことは大変重要なことである。 事務局で整理したうえで、次回の審議会では、パブリックコメント（案）を提示していただきたいと思う。